

令和5年7月14日  
復興庁

## 令和4年度 地域復興マッチング「結の場」及びイノベーション創出型「結の場」(福島)の成果について

復興庁では、被災地域事業者が抱える販路開拓や新商品開発といった経営課題の解決を図るため、支援提案事業者とのマッチングの場を通じてアドバイスや商談の機会を提供する「地域復興マッチング「結の場」」を実施しており、令和4年度も経営課題の解決への一助につながるマッチングの形成に取り組みましたので、その成果をお知らせします。

また、令和3年度から始めた新たな事業である「イノベーション創出型「結の場」(福島)」において、福島県内への県外・海外ベンチャー企業の誘致の取り組みを行いましたので、こちらの成果についてもお知らせします。

(添付資料)

- 別紙1 令和4年度地域復興マッチング「結の場」の開催について
- 別紙2 令和4年度地域復興マッチング「結の場」参加事業者一覧
- 別紙3 令和4年度地域復興マッチング「結の場」の成果
- 別紙4 イノベーション創出型「結の場」(福島)の成果

【本件に関するお問い合わせ先】

復興庁 企業連携推進室 西沖、西林、中島、  
古川、中村、瀬野  
TEL : 03-6328-0267

## 令和4年度地域復興マッチング「結の場」の開催について

地域復興マッチング「結の場」について、3県（岩手県、宮城県、福島県）の被災地域事業者を対象としたワークショップを合同で開催しました。

### <開催概要>

1. 日時： 令和5年2月22日（水） 10:00～15:00
2. 形式： オンライン会議（Zoomを使用）
3. 主催： 復興庁、岩手復興局、宮城復興局、福島復興局
4. 参加： 被災地域事業者 22 事業者 支援提案事業者 21 事業者（別紙2 参照）

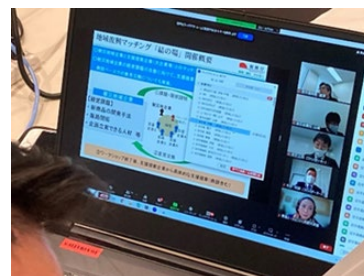
### ■ワークショップの様子

今回のワークショップは、新型コロナウイルス感染症対策及び効率的な運営のため、オンライン形式で実施しました。開会に先立ち、石田優事務次官（当時）からビデオメッセージによる挨拶を行いました。事務次官からは、多くのマッチングが成立し、3県のおいしいものが全国に届けられる一助となることへの期待が述べられました。



石田事務次官（当時）の開会挨拶

被災地域事業者は岩手県内及び宮城県内の沿岸地域に加え、福島県内の広域から申し込みがあり、販路拡大や売上の拡大を模索する食品製造加工、販売事業者を中心に22 事業者に参加いただきました。また、支援提案事業者は、食品関係の卸・小売事業者を中心に21 事業者にご参加いただきました。



結の場の当日の様子

### <支援提案の状況>

#### ■支援提案件数

支援提案事業者から被災地域事業者への支援提案件数は延べ 167 件となりました。

#### ■支援提案事業者からの提案例

- ・ 販路開拓及び販売促進（取引先への紹介、通販サイトへの商品の掲載、社内販売会の開催）
- ・ 商品開発（パッケージやデザインについてのアドバイス等）
- ・ EC・通販事業全般のサポート
- ・ SNS等を活用した情報発信等による差別化戦略アドバイス
- ・ 商品プロモーションについてのアドバイスおよび支援

## 参加事業者・団体（五十音順）

## 【被災地域事業者：22 事業者】

1	株式会社会津地鶏ネット	2	合資会社旭屋	3	株式会社エスエスフーズ
4	重茂漁業協同組合	5	合資会社カネキ商店	6	株式会社カネモト畠山水産
7	有限会社小島製菓	8	清水商店	9	株式会社松栄
10	有限会社すがた	11	大地と海のカンパネラ Brewing 株式会社	12	株式会社直江商店
13	株式会社長根商店	14	ニューフロンティア株式会社	15	株式会社フーズネット福島
16	株式会社フロンティア いわいずみ	17	有限会社マルナリ水産	18	有限会社宮古マルエイ
19	ロッツ株式会社カカオブローマ	20	山徳平塚水産株式会社	21	株式会社ヤマナカ
22	株式会社夕月				

## 【支援提案事業者：21 事業者】

1	アルプスアルパイン株式会社	2	イオンスーパーセンター 株式会社	3	イオン東北株式会社
4	カゴメ株式会社	5	紀尾井町戦略研究所株式会社	6	株式会社食一
7	株式会社 JR 東日本商事	8	株式会社 J T B	9	株式会社西武・プリンス ホテルズワールドワイド
10	株式会社仙台三越	11	株式会社丹青社	12	株式会社 東急エージェンシー
13	日本航空株式会社	14	東日本旅客鉄道株式会社	15	株式会社ベイシア
16	株式会社マイヤ	17	株式会社マルト商事	18	ヤフー株式会社
19	ヤマト運輸株式会社	20	株式会社ユニバース	21	株式会社ヨークベニマル

# 令和4年度地域復興マッチング「結の場」の成果

<ワークショップ形式>



支援提案事業者が自らの経営資源（技術・情報・販路等）を幅広く提供し、被災地域事業者が抱える多様な経営課題の解決を図ることを目的として対話の場を提供。

## 開催のポイント

【被災地域事業者テーマ】  
水産加工業・食料品製造業

【開催方法】  
1対1 オンラインマッチング

【R4年度の取組】  
イベント前後の専門家による  
セミナー・個別支援を実施

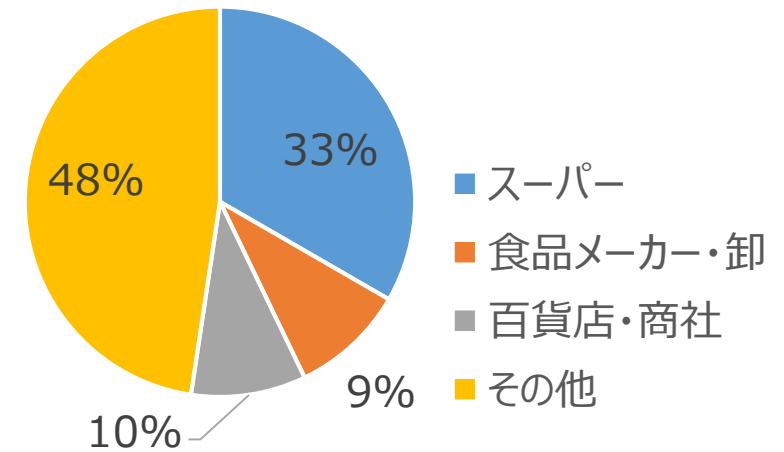
## 参加事業者数・セッション数（3県合計）

	被災地域 事業者参加数	支援提案 事業者参加数	総セッション数 (被災地域1事業者 当りセッション数)
令和4年度 実績	22事業者	21事業者	119セッション (5.4セッション)

## 被災地域事業者（県別）

	参加 事業者数
岩手県	9 事業者
宮城県	7 事業者
福島県	6 事業者

## 支援提案事業者（業種別）



# イノベーション創出型「結の場」(福島)の成果

## ○開催概要

- ・浜通り地域におけるオープンイノベーション活性化や、事業者の浜通り進出への機運醸成を目的としてR3年度より開催する新しい結の場。
- ・R4年度は、医療関係（バイオ医薬品）をテーマとし、浜通りにおける優遇施策の情報発信と、民間事業者間や産学官間の連携創出を目的に、関係機関の協力を得て関心度の高い参加者を募り、セミナー形式1回と個別マッチング形式3回の計4回のイベントを開催。
- ・開催方式は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、また開催効率を考慮して、昨年度から継続して完全オンライン形式で実施。

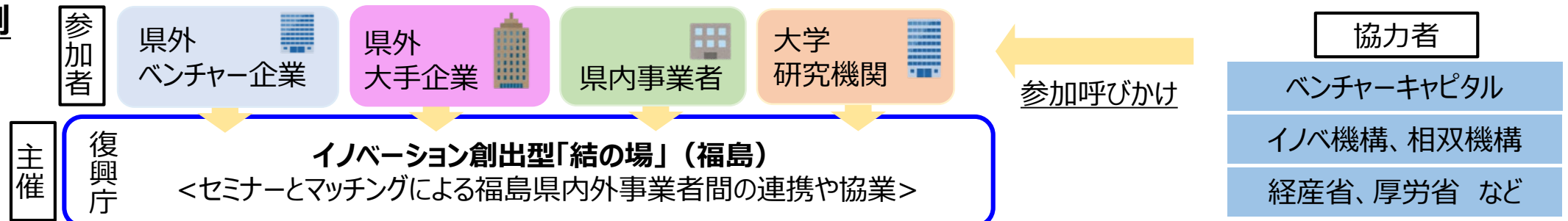
### ・情報発信セミナー

	開催日	テーマ	登壇者	参加者
1	7/27	福島県における創薬（バイオ）事業の取組紹介セミナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福島県立医科大学 医療-産業TRセンター</li> <li>・ゼノアック 日本全薬工業株式会社</li> <li>・株式会社ARCALIS</li> </ul>	福島県内外のベンチャーを中心とした民間事業者や研究機関など多数参加

### ・個別マッチング

	開催日	福島県内マッチング先	参加者
2	6/28	・福島県立医科大学 医療-産業TRセンター	福島県外に拠点を持つベンチャーを中心とした民間事業者4事業者
3	9/13	・福島県立医科大学 医療-産業TRセンター	福島県外のベンチャー企業1事業者
4	9/13	・株式会社ARCALIS	福島県外に拠点を持つベンチャーを中心とした民間事業者2事業者

### ・実施体制



# イノベーション創出型「結の場」（福島）の成果

## ○開催結果

- ・全4回のイベントで、ベンチャー企業を中心とした福島県内外の民間事業者や研究機関等、計56団体が参加。参加人数は87人にのぼった。
- ・イベント参加事業者間において、共同での新たな医薬品の開発や、福島県内事業者の技術を活用した製品開発の検討など、福島県内外の参加事業者間での連携による新たな取り組みが生まれている。
- ・事業者などの取り組みの紹介と合わせて、浜通り地域への立地を促進する各種優遇施策の情報発信を行い、参加者より高い関心を得た。

### ・参加団体、参加者数

セミナー：7/27（水）

参加者	団体数	人数
中小企業・ベンチャー企業	25	33
大企業	7	8
大学・関係機関	9	17
官公庁・自治体	8	14
合計	49	72

個別マッチング：6/28（水）

マッチング先	参加者	企業数	人数
福島医大TRセンター	ベンチャー企業	4	10
合計		4	10

個別マッチング：9/13（火）

マッチング先	参加者	企業数	人数
福島医大TRセンター	ベンチャー企業	1	3
株式会社ARCALIS	ベンチャー企業	2	2
合計		3	5

### ・主なマッチング成果等

#### 福島県立医科大学 医療-産業TRセンター

個別マッチングに参加した福島県外の大学発ベンチャー企業がTRセンターの医薬品評価試料の活用に向けて、試料データベースをデモンにて使用。今後の開発段階に応じて、医薬品評価試料の活用を検討中。

#### ゼノアック 日本全薬工業株式会社

セミナーに登壇した事業者から技術の紹介を受け、日本全薬工業にて製品開発への応用を検討。また、セミナーを聴講した浜通り事業者と会社紹介やバイオ技術の情報交換などを行い交流が深まるなど、新たなネットワークが構築された。

#### 株式会社ARCALIS

ARCALISからの創薬支援サービス提供に向けて、個別マッチングの参加事業者と複数回打合せを実施。サービス提供に向けた調整段階ではあるが、将来商業化につながれば、ARCALIS南相馬工場の活用も含めて協議予定。